



絹を草花と風で染める 体験型観光施設が新たに誕生

絹遊塾 工房風花（かざはな）

東久方町にあるベーカリーレンガ付設工場内の一面に、絹織りや染め体験ができる教室「工房風花」が10月2日に新しくオープンする。高機を用いた本格的な織りから回転整経式手織機「フラミンゴ」を使い手織り体験が気軽に楽しめる。

代表を務める板野千恵さんは、昭和48年から平成16年まで桐生シルク(株)に勤務、その後“手づくり”の素晴らしさを広めたいという強い想いから、養蚕から手機、染めなどの知識や技術を学び、今から5年前に琴平町で同工房を開業した。平成22年度には(財)群馬県蚕糸振興協会（日本絹の里）より「世界遺産連携オリジナル絹製品開発事業」の委託を受け、群馬ブランドシルクの商品開発も行った。昨年12月に一度は廃業したが、絹製品に対する情熱は消えることなく、一念発起し、今回の再オープンに至った。

新しい工房は、桐生市の観光スポットとして人気のあるベーカリーレンガに隣接する工場内の一面。工場全体はかなりの広さだが、その一部を借用し工房に改装。独自開発したシルク製商品の製造販売と体験教室を行う。取扱商品は、群馬県産のブランドシルクを中心としたシルク製品。特に塩縮加工という特殊なしわ加工を施したストールやアクセサリ、廃棄される繭を特殊紡績機で紡いだ糸を用いて作るタオルなどのエコシルク商品は、他では真似できない独自の製品として現在開発中である。体験教室では、薔薇、桜、吾亦紅などの天然植物染料を使った草木染め体験コース、本格的な手機体験ができるシルクストール織体験コース、観光客向けに短時間で手軽にチャレンジできる裂き織（着物の端切れを使った織物）体験コースを用意している。

板野さんは「多くの方々のおかげで再スタートを切ることができ感謝の気持ちでいっぱい。一人ひとりのペースに合わせて手織りや手染めの楽しさを伝えていきたい。」と抱負を語った。

桐生市の産業観光に新たな体験型施設が加わった。

- 織り体験コース：1,000円（入会金500円・材料費別途）
- 染め体験コース：1,500円（材料費別途）
- 住所／桐生市東久方町一丁目1-55（ベーカリーレンガ付設工場内）
- 電話／0277-32-6387
- 営業時間／10：00～17：00